

研究課題番号	2RF-1801
研究課題名	中規模輸送・長期保存用水素貯蔵材料の開発
研究実施期間	平成30年度～令和2年度
研究機関名	関西大学
研究代表者名	近藤 亮太

1. 委員の指摘及び提言概要

本研究は、水素の輸送や長期安定保存用としてMg/Fe積層体を開発することを目的とした計画内容であり、研究成果として、開発されたMg/Fe積層体は高い効率性を示すこと、費用コスト面で作製工程開発に関する成果が得られている。若手枠であるにも拘わらず、基礎研究から企業化まで視野に入れた研究を進め、予定を超える成果を挙げたと評価する。3か月の水素貯蔵が可能であることを示したことなど、実用化に向けた一歩となる水素の長期貯蔵の可能性を明らかにし、今後企業化・産業化の展望も見通され、興味深い成果をあげていると評価できる。社会実装化に向けた展開も期待したい。また、査読付き論文の執筆・発表とともに、知的財産権が得られ、企業連携の方策も見込まれており、有用な研究成果となっている。炭素社会実現のために水素貯蔵技術開発は重要であり、実用化に向けての研究継続を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S